

第 1 6 回放射化学討論会 プ ロ グ ラ ム

講演番号 1 A 1 は第 1 日 A 会場 1 番目の講演
(20) は講演時間が 20 分で、その中に討論時
間 3 分を含むこと
○印は連名の場合の講演者を示す。

研究発表・討論

第 1 日 10 月 11 日 (水) 午前の部

A 会 場		B 会 場	
〔宇宙化学・飛跡〕		〔放射化学分離〕	
1 A 1 (20)	超微量 ¹²⁹ I の検出 (東大理) ○今村峯雄・(東大物性研) 堀江絹子	1 B 1 (20)	液-液分配系における ¹⁰⁶ Ru- ¹⁰⁶ Rh の迅速分離と化学的挙動 (京大理) 高松武次郎・小山睦夫 藤永太郎
1 A 2 (20)	アポロ 14 号試料の La 同位体比 (東大理) ○柳田昭平・馬淵久夫 (地物) 小嶋稔(東京理科大学) 増田彰正	1 B 2 (20)	放射性アンチモンの溶存状態とその分離 (静大放射研) ○神原富尚・長谷川罔彦・吉岡潤江・仁木政雄・猪口養司
1 A 3 (20)	Allende いん石中の中性子線束 (東大理) ○馬淵久夫・高橋宏・中村裕二	1 B 3 (15)	三酸化タンゲステンターゲットからの無担体レニウムの分離 (新潟大理) ○外林武・鈴木俊雄
1 A 4 (20)	¹⁷⁶ Lu の半減期 (東大核研) ○小村和久・坂本浩 田中重男	1 B 4 (15)	β-ジケトンを用いた核分裂生成物の分離- (1) 抽出による濃縮条件の検討 (京大原子炉) 西川佐太郎
1 A 5 (20)	鉄の陽子照射により生じた ⁵⁸ Mn の生成断面積 I (中性子放射化分析による) (名大理) ○古川路明・(万有製薬) 志津里公子	1 B 5 (20)	テトラフルオロホウ酸を含む鉍酸系におけるアクチノイドおよび核分裂生成物の陰イオン交換平衡 (原研) ○白田重和・梅沢弘一・夏目晴夫
1 A 6 (20)	鉄の陽子照射により生じた ⁵⁸ Mn の生成断面積 II (質量分析による) (東大物性研) ○源生礼亮・武内節子・西泉邦彦・本田雅健・(名大理) 古川路明	1 B 6 (20)	プロトアクチニウムの化学 - Pa(IV) の溶媒抽出における Cr(II) の影響について (東北大金研) 鈴木進・川筋伊佐務
1 A 7 (20)	隕石鉍物中のトラック長の測定とその解析 (金沢大理) 中西孝	1 B 7 (25)	プロトアクチニウムの化学 - 改良 Fomin 法によるプロトアクチニウム V 価の溶存状態の検討 (東北大金研) ○三頭聡明・鈴木進
1 A 8 (15)	フィッシュントラックの長さの測定に関する基礎研究 (新潟大理) ○池田哲夫・中原弘道・外林武(京大原子炉) 橋本哲夫	1 B 8 (20)	TBP 抽出クロマトグラフィーによるウランの分離 (原研) ○田村則・米沢仲四郎
	座長 9.30 坂本 浩 10.30 馬淵 久夫 11.40 今村 峯雄 12.15		座長 9.30 市川富士夫 10.25 渡利一夫 11.00 梅沢弘一 12.05

昼

食

第1日 10月11日(水) 午後の部

1330	特別講演 I	
	重イオンの核化学における現状	京都大学原子炉実験所 岩田 志郎
1430	(大講堂)	(座長 西 朋太)

移動休憩

研究発表・討論

A 会場		B 会場	
〔核化学・検出器〕		〔放射化学分離・トランスウラン〕	
1A9 (20)	オンライン同位体分離器用ターゲットからの放射性亜鉛の蒸発速度 (阪大理) 久米三四郎	1B9 (20)	逆相クロマトグラフィーによる酸化状態の異なるプルトニウムイオン (Pu (III), Pu (IV), Pu (VI)) およびコロイド状プルトニウムの分離 (原研) 佐藤忠
1A10 (20)	鉛山微弱放射能測定孔に設置した X線カウンターの製作 (東大理) 高橋宏・馬淵久夫・浜口博	1B10 (20)	コロイド状プルトニウムの粒度分布について (原研) 市川富士夫・佐藤忠
1A11 (20)	JPDR-I 使用済燃料中のアメリカシウムおよびキュリウム (原研) 梅沢弘一・市川進一・鈴木敏夫・岡下宏・夏目晴夫	1B11 (20)	ナトリウムアマルガムによる Th, Np, Am の還元 - バッチ法による還元抽出 (原研) 小林義威・青藤昭
1A12 (20)	アンチモンターゲットの α , ^3He 照射による放射性ヨウ素の生成について (都立大理) 江沢修・村上悠紀雄 (原研) 油井多丸	1B12 (15)	照射アメリカシウムよりプルトニウムの分離 (原研) 渡辺賢寿・佐川千明
		1B13 (20)	アメリカシウムの化学 (5) 種々の担体による Am (III), Am (V), および Am (VI) の共沈 (東北大金研) 鈴木進・原光雄

1700	核化学グループ分科会	(世話人 中原 弘道)
1900	(小会議室)	

A 会場		B 会場	
〔核反応・チャージスペクトル〕		〔放射化学分離・吸着その他〕	
2A1 (20)	核分裂キセノンの親核種からの迅速分離法および ^{135m} Xeの生成分岐比と半減期 (原研) 福田健・大森俊造	9.30	2B1 (20) 電気泳動法による核分裂生成物の迅速分離 (京大原子炉) 木曾義之
2A2 (20)	²³³ U, ²³⁵ U熱中性子核分裂における ¹³¹ Teと ¹³³ Teの核異性体生成断面積 (京大原研) 西朋太・藤原一郎 ○今西信嗣 (新潟大理) 中原弘道(動燃) 岡本弘信	9.30 鍛冶 東海	2B2 (15) 電気泳動法による核分裂生成物中のバリウム, ストロンチウムの相互分離 (京大原子炉) 高田実弥・玉井忠治・松下録治・木曾義之
2A3 (20)	重イオン核反応による ¹⁵⁶ Er → ¹⁵⁶ Ho → ¹⁵⁶ Dy および ¹⁵⁷ Er → ¹⁵⁷ Ho → ¹⁵⁷ Dy の壊変過程と核構造の研究 (京大原子炉) 岩田志郎(日本原研) 田村務 (Yale大) R. Needham・J. O. Rasmussen	10.10	2B3 (20) 濾紙電気泳動法による ⁹⁵ Zr - ⁹⁵ Nb および ⁸¹ Hf の相互分離 (青学大理工) 木村幹・佐野裕正 (東教育大理) 関李紀・池田長生
2A4 (20)	N=50近傍における(n, 2n)反応のsystematics (東北大理) 玉木洋一・鍛冶東海・塩川孝信	久米三郎	2B4 (15) 合成吸着樹脂(Amberlite XAD)の放射化学的利用(1)放射性核種の吸着におよぼすオキシンの影響 (放医研) 渡利一夫・今井靖子 伊沢正実
2A5 (20)	(n, 2n)反応の統計論による解析 (東北大理) 玉木洋一・鍛冶東海・塩川孝信	四郎	2B5 (15) フェロシアン化コバルトの組成とRIの吸着特性 (放医研) 河村正一・黒滝克己 柴田貞夫・大網保司・伊沢正実
2A6 (15)	電気泳動法により分離された短寿命核分裂生成物ブロムのγ線スペクトル (京大原子炉) 玉井忠治・松下録治・高田実弥・木曾義之	10.50	2B6 (20) 活性炭による放射性テルルと放射性ヨウ素の形態別分離 (東教育大理) 池田長生・田中霧子
2A7 (20)	内殻電離にともなう荷電分布の計算 (阪大工) 成定薫・西沢嘉寿成 ○曾家正孝・品川睦明	馬場	2B7 (20) いくつかのテルル化合物からのI-131の乾留の研究 (原研) 四方英治・天野恕
2A8 (20)	CH ₂ TIのチャージ・スペクトロメトリー (阪大工) 西沢嘉寿成・成定薫 品川睦明	宏	2B8 (20) 中性子照射した種々のウランターゲットからのキセノン放出挙動とその ¹³³ Xe製造への応用 (原研) 館盛勝一・天野恕
2A9 (20)	インジウム錯体の反跳効果における出現エネルギー (東北大理) 吉原賢二・藤田明久・塩川孝信 (電総研) 前田浩五郎 (国際電気) 世渡和義	11.25 佐野 博敏	2B9 (20) 酸化トリウム の複分解 (原研) 上野馨・武田常夫
		12.25	11.15 木曾義之 12.15

1230 [昼食]

放射化学研究委員会
(大会議室)

1330

第2日 10月12日(木) 午後の部

1330	特別講演Ⅱ	日本学術会議 三宅泰雄
	環境の放射能汚染における諸問題	
1430	(大講堂)	(座長 伊沢正実)

移動休憩

研究発表・討論

A 会場		B 会場		
	〔気相ホットアトム・その他〕		〔環境放射能〕	
2A10	昇華法による有機金属錯体のホットアトム化学(第3報)中性子照射シリコニウムアセチルアセトネート生成核種の挙動と、トリウム化合物照射との比較(金沢大理)。河津秀雄・阪上正信	14.50	2B10 中国の第12回,第13回核爆発(20)実験のフォールアウトについて(新潟大理)小山誠太郎・外林武鈴木俊雄。中原弘道・池田哲夫・福崎紀夫	14.50
2A11	昇華法による有機金属錯体のホットアトム化学(第4報)ウラニルアセチルアセトネートとその娘核種の昇華のさいの挙動(金沢大理)阪上正信。天野良平	俊明	2B11 浮遊塵中の ⁹⁵ Zr, ⁹⁵ Nbの組成(20)(放医研)。湯川雅枝・鎌田博・佐伯誠道	15.30
2A12	ラジオガスクロマトグラフ法による無機化合物のホットアトム化学的研究(第2報)フロン・臭素系の中性子照射による反跳生成物とガンマ線照射による生成物(東大理,理研)。富永健・岩田鍊・巻出義紘	15.30	2B12 太平洋海水のプルトニウム,ストロンチウム,セシウム(20)(気象研)三宅泰雄・杉村行勇。猿橋勝子・葛城幸雄・金沢照子	寺田喜久雄
2A13	C ₂ H ₅ ^{80m} Br系における ^{80m} Brの核異性体転移の化学的効果(東北大理)。伊沢郡蔵・白井康雄・塩川孝信	功	2B13 海水中における放射性セリウムの化学的挙動(第3報)(放医研)。平野茂樹・小柳卓・佐伯誠道	16.05
2A14	反跳 ⁸⁰ Brとエタンの気相反応ー(n, γ)反応と(I. T.)壊変により生じた ^{80m} Brの反応性(原研)。佐伯正克・立川円造	16.35	2B14 マウス臓器へのスカンジウム,ガリウム,ランタノイド元素,ネプツニウムの摂取(立大原研)。戸村健児(神奈川歯大)東与光	河村正一
			2B15 テトラ p-フルオロフエニルホウ素ナトリウムによる,環境放射能 ¹³⁷ Csの分離に関する研究(東北大理)塩川孝信。蔡昭明・伊沢郡蔵	16.40

1700	懇親会
1830	(大会議室)

A 会 場		B 会 場			
〔ホットアトム・その他〕		〔放射化分析〕			
3A1 (20)	CH ₄ 系における ^{80m} Br および ^{80m} Br の核異性体転移にともなう化学的効果 (東北大核理研)八木益男・近藤健次郎 (東北大理)小林孝彰	930	3B1 (20)	ループ式照射法による放射化分析 — (統報)水溶液試料への適用について (甲南大理)・辻治雄・藤原儀直 日下讓	930
3A2 (20)	核異性体転移による ⁸⁰ Br と CH ₄ との熱イオン反応に対する添加物の効果 (東北大理)・小林孝彰・塩川孝信 (東北大核理研)八木益男・近藤健次郎	高島良正	3B2 (20)	14Mev 中性子を用いた酸素分析法におけるホウ素の影響 (東芝総研)・三塚哲正・小野寺浩一・下島光	永塚澄子
3A3 (20)	臭素酸カリウム水溶液およびその凍結水溶液において ⁸¹ Br(n,γ) ⁸² Br, ⁸¹ Br(n,γ) ^{82m} Br および ^{82m} Br(I. T.) ⁸² Br 過程により励起された臭素の化学的挙動 (熊本大工)・岸川俊明・四宮知郎 (東北大理)塩川孝信	1030	3B3 (20)	抽出クロマトグラフィー分離法を用いるジルコニウム, ジルカロイおよびニッケル合金中のタンタルの放射化分析 (原研)・米沢伸四郎・田村則・大西寛	1030
3A4	[取消]		3B4 (20)	天然水中の微量金属成分の放射化分析 (特にウラン核分裂による妨害について) (京大理)奥田潤・深田昇・朽山修*・小山路夫・藤永太郎(* 現在東北大工)	戸村
3A5 (20)	反跳トリチウムによる芳香核置換反応 (東大理)・滝口秀樹・森川尚威 島村修	吉原	3B5 (15)	都市河川, 地下水中の微量元素の放射化分析 (都立アイソトープ研)・堀口泰裕・永塚澄子・岡野安宏	健児
3A6	[取消]		3B6 (15)	海水, 海産生物中の希土類元素の放射化分析(第2報) (放医研)・鈴木浜治・小柳卓・佐伯誠道	1120
3A7 (20)	リンのオキソ酸塩のホットアトム化学 (九大理)・矢野隆義・中村照正 布川徹・大橋茂	賢二	3B7 (20)	毛髪中の微量元素の放射化分析 (東大理)・黄金旺・浜口博 (立大原研)樋口英雄	辻
3A8 (20)	リン酸塩ガラスのホットアトム化学 — 熱アニーリングと溶解過程における酸化還元 (核能研・台湾)林清科 (東大教養)・松浦二郎・小林喜光	1130	3B8 (20)	放射化分析による玄米中の重金属元素の定量 (都立アイソトープ研)永塚澄子 ・谷崎良之・篠崎善治	1200
3A9 (20)	^{119m} Te から EC 壊変により生成する ¹¹⁹ Sb の化学状態 (理研)・安部静子・安部文敏・齋藤信房	藤原			
3A10 (20)	⁵⁷ Co[Fe(CN) ₅ NO]・xH ₂ O および ⁵⁷ Co[Mn(CN) ₅ NO]・xH ₂ O 中において EC 壊変により生成する ⁵⁷ Fe 原子の化学的状態の研究 (東大理)・竹田満洲雄・後藤敏子*・安田顯*・齋藤信房[現 *都立大**川鉄]	一郎			
		1210			

1230 〔昼 食〕

将来計画に関する懇談会
(大会議室)

世話人 塩川孝信

1330

A 会場		B 会場	
[ホットアトム・メスバウアー効果・その他]	座長	[反跳・その他]	座長
3A11 ^{127}Te , ^{129}Te と ^{181}Te の核 (20) 異性体転移とその内部転換による 化学効果およびその Decay Schemeへの応用 (京大原研) 西朋太・藤原一郎・ 今西信嗣	13.30 八 木	3B9 核分裂反応にともなう電着板から (20) のウラン自身の放出 (京大原子炉)・橋本哲夫 (近大理工) 小林良彦	13.30 田 中 吉 左 右
3A12 溶液および凍結状態におけるホッ (30) トアトム化学(第5報)中性子照 射したコバルト(III)およびクロム (III)のトリスアセチルアセトナト 錯体のベンゼン溶液中における反 応 (東大理) 富永健・西保夫	益 男 14.20	3B10 金属中における α 線飛跡の質量分 (20) 析的研究 (理研) 諏訪茂・荒谷美智	14.30
3A13 メスバウアー効果によるいくつか (20) のFe(III)-Triphenyl phosphine oxide と Fe(III)-Pyridine N-oxide 錯体の化学構造につい て (九大理)・前田米蔵・高島良正	安 部 15.00	3B11 β 線により固体を照射する場合の (20) イオン化 (東大理)・末広牧子 (理研) 荒谷美智・斎藤信房	14.30
3A14 メスバウアー効果による多環芳香 (20) 族化合物-鉄錯体の放射線および 熱分解の研究 (九大理)・高島良正 (愛媛大工) 中山祐輔	文 敏 15.00	3B12 1,1,1-トリフロロ-2-ク (20) ロロ-2-ブロモエタンの ^{82}Br による反跳標識 (原研)・保泉澄・守屋孝・茂木 照十三・工藤博司	森 川
3A15 $^{119}\text{Sn}(\text{C}_6\text{H}_5)_4$ をドープした (20) $\text{Ge}(\text{C}_6\text{H}_5)_4$, $\text{Sn}(\text{C}_6\text{H}_5)_4$, および $\text{Pb}(\text{C}_6\text{H}_5)_4$ における反 跳エネルギーの伝わり方 (都立大理)・佐野博敏 (お茶女大理) 武藤淑子	西 沢 嘉 寿 成 15.40	3B13 モリブデン酸ジルコニウムによる (15) In-113m 発生器 (名工試) 河島達郎	尚 威
3A16 ホットイオンのESR(第17報) (20) 無機錯体照射生成物中の不安定原 子価の検出(II) (東大理)・磯谷順一・山崎飛 藤原鎮男	15.40	3B14 バリウム化合物中の放射性キセノ (20) ンの拡散について (東教育大理) 池田長生・西井 重一	15.25

16.00 ホットアトム化学グループ分科会 (世話人 塩川孝信)	16.00 放射化分析グループ分科会 (世話人 寺田喜久雄)
18.00 (大会議室)	18.00 (小会議室)

